

7. 競技進行の《競技ローテーション》の補足説明(ブック14ページ)

★競技直前の待機イスに座って待っている間に、マガジンへの給弾を済ませ、

マガジンを銃にセットしておいてください。⇒ブック14ページ
【競技ローテーション】参照

競技直前の各選手は、指定されたレンジ番号の後ろにある「待機イス」に座って待機します。待機時間は約8分間です。(※待機時間は競技の進行状況により多少前後することがあります。)この待機時間中に、マガジンにBB弾を給弾し、銃にセットしておいてください。着脱タイプのマガジン、銃固定タイプのマガジンに関わらず、この場所で装弾準備を完了させてください。その際は、必ず銃口カバーを付け、セフティをかけた状態で作業し、銃の安全には細心の注意を払ってください。絶対にコッキング操作(：チャンバーに弾を入れ、発射できる状態にすること)はしないでください。射撃コートや射撃メガネの類を着用される選手は、この間に準備を完了させてください。また待機中は、やむをえない事情がないかぎり、待機イスから離れないでください。

8. 競技説明の《3 競技共通注意事項》の補足説明(ブック15ページ)

★撃つとき以外は、トリガーに指をかけるはいけません。⇒ブック16ページ
【スタンバイ姿勢について】参照

射撃競技では一般的に、指がトリガーに触れてよいのはターゲット(：的)を狙って発射するときだけです。

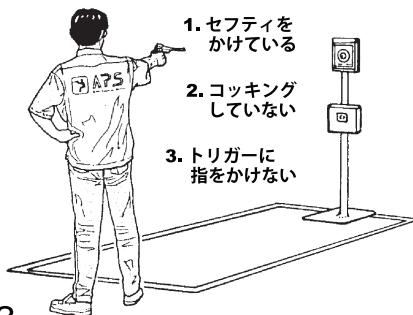
APS競技においても、特に「スタンバイ姿勢時」や「スタンバイコール中」にトリガーに指をかけることはレギュレーション違反です。実際、選手の指はトリガーに触れていなくても、ジャッジから見てトリガーに触れていると判断した場合は、ファールの対象にもなりかねます。ゆえに、常に指はトリガーガードの外に出すなどして、トリガーに触れていないことをジャッジにアピールするようにしてください。

★「サイティング練習」は、コッキング操作前に、セフティをかけた状態で行います。⇒ブック16～25ページ
【各競技動作】参照

各競技は射撃前に1度だけサイティング練習が行えます。ジャッジから『セフティをかけた状態でサイティング練習を行ってください』とコールがあります。サイティング練習前にセフティを解除したり、コッキング操作をしてはいけません。また、サイティング練習中もトリガーに指をかけるはいけません。セフティの解除とコッキング操作は、次の競技動作の「スタンバイ姿勢」で待機する直前に行います。

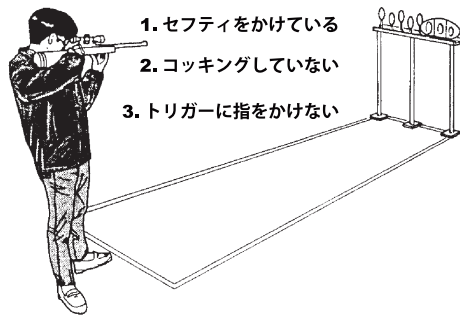
(※ただし、ライフルのムーバー競技は、サイティング練習に実射練習が加わるため例外です。)

ハンドガン競技 基本的なサイティング練習姿勢



1. セフティをかけた状態
2. コッキングしていない
3. トリガーに指をかけない

ライフル競技 基本的なサイティング練習姿勢



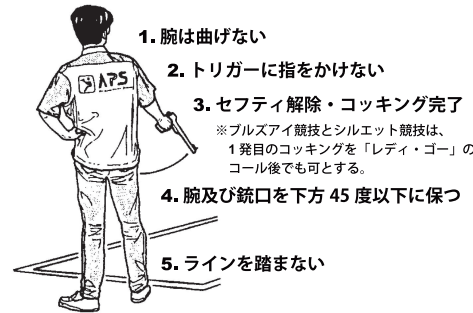
1. セフティをかけている
2. コッキングしていない
3. トリガーに指をかけない

★セフティの解除とコッキング操作は、「スタンバイ姿勢」で待機する直前に行います。⇒ブック16～25ページ
【各競技動作】参照

サイティング練習終了後に、ジャッジから『スタンバイ姿勢でお待ちください』とコールがあります。このコールを聞いた直ちにセフティを解除し、コッキング操作(：最終射撃準備)を行ってください。そして、スタンバイ姿勢で待機してください。今後は、ジャッジの『スタンバイ姿勢でお待ちください』というコールの中に、セフティの解除とコッキングの許可が含まれます。

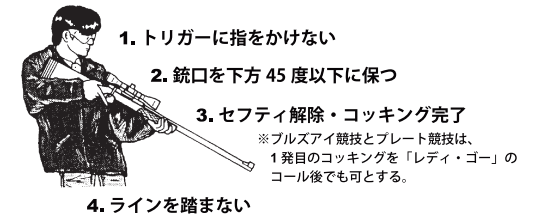
※例外として、ブルズアイ競技、ハンドガン・シルエット競技、ライフル・プレート競技については、1発目のコッキングをメインジャッジの『スタンバイ・レディ・ゴー』のコール後(：競技開始後)でも構いません。ただし、その場合はジャッジに事前申告してください。

ハンドガン競技 基本的なスタンバイ姿勢



1. 腕は曲げない
2. トリガーに指をかけない
3. セフティ解除・コッキング完了
※ブルズアイ競技とシルエット競技は、1発目のコッキングを「レディ・ゴー」のコール後でも可とする。
4. 腕及び銃口を下方45度以下に保つ
5. ラインを踏まない

ライフル競技 基本的なスタンバイ姿勢



1. トリガーに指をかけない
2. 銃口を下方45度以下に保つ
3. セフティ解除・コッキング完了
※ブルズアイ競技とプレート競技は、1発目のコッキングを「レディ・ゴー」のコール後でも可とする。
4. ラインを踏まない

★射撃後は、セフティをかけ、銃口カバーを付けてレンジ内で待機してください。⇒ブック16～25ページ
【各競技動作】参照

ブルズアイ競技、ハンドガン・シルエット競技、ライフル・プレート競技は、1ステージの競技時間が2分間で、計2ステージ行います。制限時間内(：メインジャッジの『競技終了』コール前)に撃ち終えた選手は、直ちにセフティをかけ、銃口カバーを付けて、レンジ内で楽な姿勢で待機してください。メインジャッジの『競技終了』コール後、競技によっては、第2ステージのセッティングのためにジャッジがターゲットレンジ内に立ち入りま。このとき、選手は銃にセフティをかけ、銃口カバーを付けた状態で待機していただきます。また、この間に第2ステージの射撃準備(：マガジン交換、給弾作業等)を行ってください。

APS